

女川町民有志による、女川町民のためのミニコミ。町の生活関連情報等も、なるべく定期的に、皆様に発信して参ります。本紙は皆様の声によって作られます。情報収集にご協力下さい!! (不定期発行)

ボランティアセンターだより

先日開催された「がんばらセウ川! 盆まつり」の準備は、お菓子の装飾もご支援頂いた浴衣の整理等を行いました。仮設住宅への支援、写真の修復、除草作業は、好評につき続けて参ります。また今月末には、小屋取と夏泳で「鳴り砂」再生に向けて海岸清掃活動を行う予定です。

盆まつりでも出店していた「高校生カフェ」は女川在住の高校生達がアイデアを出し合い、企画・運営を進めています。今後も仮設集

8月19日現在 9避難所 避難者数325名		
女川一小 (60名)	第一保育所 (29名)	勤労青少年センター (19名)
町立病院 (11名)	総合体育館 (162名)	学校教員住宅 (17名)
大塚・小屋取集会所 (4名)	旧女川三小 (5名)	旧御前分校 (18名)

会所等で、高齢の方から子供までを対象として「おしゃべり」「お茶、ご飲み」「ゲーム」「宿題勉強タイム」等を開催予定です。

担当である美術講師の橋原先生によると「生徒達に今のうちから、こうした取り組みに参加して、色々学びたいから」と。若き女川町民の「高校生カフェ」皆様もぜひご参加下さい!!

営業再開

ヤマホン直売所 (水産) 0225-98-6301
石巻市中里 Uマート隣にて。生さんま発送も受付中。

あながわさがいいエフエム79.3MHz 番組表

リクエスト・メッセージは
now@onagawafm.jp

~6:00	MUSIC STREAM (様々なジャンルの音楽を、日替わりノンストップで皆様にお届けいたします)	13:00	MUSIC STREAM
7:00	(生放送) あながわ★なう朝! ・今日の炊き出し情報、生活関連情報 etc ・協力:女川町ボランティアセンター	15:00	(再) 昼もあながわ★なう ・当日12:00 放送分
8:00	MUSIC STREAM	16:00	MUSIC STREAM
10:00	(再放送) あながわ★なう朝! ・当日7:00 放送分	17:00	(生) 夕方あながわ★なう (土・日・祝祭日はお休みです) ・災害対策本部からのお知らせ ・女川町・石巻市の生活関連情報 ・交通機関等のご案内 ・お天気情報 ・今日のメッセージ・伝言板など
11:00	MUSIC STREAM	18:00	MUSIC STREAM
12:00	(生) 昼もあながわ★なう ・災害対策本部からのお知らせ ・女川町・石巻市の生活関連情報 ・交通機関等のご案内 ・お天気情報 ・今日のメッセージ・伝言板など	20:00	(再) 夕方あながわ★なう (土・日・祝祭日はお休みです) ・当日17:00 放送分
		21:00~翌6:00	MUSIC STREAM

月	火	水	木	金	土	日
秋の大凧は、満潮時の水位が高くなります。天候にかかわらず、外出の際は十分にご注意下さい!!			1 05:27 153 17:29 159	2 06:07 144 17:53 160	3 06:50 133 18:19 159	4 07:42 120 18:48 156
5 08:57 109 19:21 150	6 20:06 142 --- ---	7 14:48 122 21:28 134	8 14:41 128 23:56 133	9 14:53 134 --- ---	10 01:24 140 15:10 140	11 02:21 148 15:29 145
12 03:07 155 15:49 150	13 03:48 159 16:10 154	14 04:27 159 16:32 158	15 05:06 155 16:55 161	16 05:45 148 17:19 162	17 06:26 138 17:44 161	18 07:13 127 18:12 158
19 08:12 116 18:43 152	20 10:19 109 19:22 143	21 20:23 133 --- ---	22 14:04 125 22:39 126	23 14:17 131 --- ---	24 00:48 131 14:34 137	25 01:55 140 14:53 142
26 02:44 148 15:14 148	27 03:27 153 15:35 153	28 04:07 155 15:57 157	29 04:46 154 16:21 161	30 05:25 149 16:45 163	9月の 潮見表	

佐々木写真館 父と娘の写真展

女川町の多くの皆さんが記念写真を撮らせたあの「佐々木写真館」。残念ながら店主の佐々木厚さんと奥様は、3.11の犠牲となり、今も行方不明ですが、奇跡的に見つかった写真もこじ、娘である鈴木麻子さんが、お父様の遺志を受け継ぎ、写真展を開催します。被災を乗り越えて生きる女川を撮り続ける娘・麻子さんと、父・厚さんが写真にかけた情熱を披露します。機会のある方はぜひご観下さい。

写真展『LIFE ~ 父の眼差し、娘の視線 ~』
8月25日(木)~30日(火) 10:00~17:30 ※入場無料
会場:富士ビル7Fオサロン山台 (仙台市宮城野区こしら町99-1F)

町民の健康は町民の手で ... 女川町厨房プロジェクト

7月28日から各避難所へ、女川町被災した飲食店の店主さん達が作ったお弁当が、毎日朝晩届けられるようになりました。

町の老人保健施設1階の調理場にて、厨房機器等の支援を受け、女川町麺飯飲食業組合に所属する三秀さん、成田屋さん、ZAKAYAようこそさん、ニューこのりさん、古母里さんらの手によって、同町避難所数百人分の給食作りがスタートしました。これによって避難所の食事が改善されるだけでなく、雇用の創出や、漁業復興への貢献にもつながる、新たな「震災復興支援」と言えます。

この「厨房プロジェクト」は、麺飯飲食業

組合理事長の木村正樹さんが、町の健康福祉課の方から相談を受け手がきっかけです。ちょうど4月28日、合同慰霊祭の時、避難者の健康や今後の町役場が配慮した上での相談なのだろう、しかし実際は震災から間もなく、設備も何もない状態の中、熱意だけは持てずに皆で取り組みを続けました。

組合メンバーの多方面へのアプローチと、地域復活にかける心遣いは県外にも伝わり、5月下旬以降ご支援を受けるチャンスが。業務用炊飯器制作設置メーカーの(株)ピーケック(本社:広島市東区、吉田

哲夫社長)から、東日本大震災の被災地支援として、同社のIH万能調理器を提供したいとの申し出を頂きました。IH調理器以外にも、その後さらに炊飯器、会議、教育委員会、社会福祉協議会の協力を得、魚焼き機・冷蔵庫・食器等の支援も決まりました。魚の調理ができる事で、女川の漁業復興の一助になれば...という先方の心遣いもあってです。

「厨房プロジェクト」初日のメニューは、白飯、牛乳、ホタテと野菜の中華炒め、わかめサラダ、ミニトマト、オレンジ等。避難所の皆さんからは、温かいご飯の朝食に大変喜ばれたそうです。

以前の配食は、ユニセフや、すがいさくボランティアチームから長くご支援頂いていま

したが、ようやく女川町内で自給自足できるシステムが実現しました。

現在、日々のメニューは、町の健康福祉課より献立の連絡を受け、各避難所分の調理を朝3時からスタートし、休日はお休みながら夕方4時まで行っているそうです。

プロジェクトの今後の課題として、町内の避難所が9月末頃にはほぼ閉鎖される見込みから、仮設住宅でひとり暮らしの高齢者や、買い物物が困難な方への配食支援ができないか、現在検討中との事。

記者自身の欲を言えば、組合各店の料理がまた食べられると最高なのですが、このプロジェクトによってまた1歩、女川町復興に向けて大きく前進できたのではないかと思います。(うめまる)